

13	地球と宇宙 四季の変化	氏名	得点 点
----	--------------------	----	-------------

1 次の問いに答えなさい。

- (1) 1年のうちで、日の出・日の入りの位置が真東と真西になるのは、春分の日か、夏至の日か。
- (2) 1年のうちで、日の出・日の入りの位置がもっとも南よりになるのは、夏至の日か、冬至の日か。
- (3) 日本で、1年のうちで太陽の南中高度がもっとも高くなるのは、夏至の日か、冬至の日か。
- (4) 日本で、1年のうちで昼の長さがもっとも短くなるのは、夏至の日か、冬至の日か。
- (5) 春分の日と秋分の日、昼と夜の長さがほぼどのようになるか。
- (6) 地面が1日に太陽から受けるエネルギーの量が多いのは、太陽の南中高度が高い日か、低い日か。

1

(1)	春分の日
(2)	冬至の日
(3)	夏至の日
(4)	冬至の日
(5)	同じ(等しい)
(6)	高い日

2 次の問いに答えなさい。

- (1) 次の文の()にあてはまることばや数は何か。

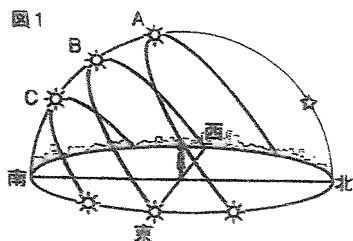
太陽の南中高度や昼の長さが季節によって変化するのは、地球の(①)が公転面に垂直な方向から(②)°傾いたまま、地球が公転しているためである。

- (2) 次の①～③のようになるのは、夏至の日、春分・秋分の日、冬至の日のどの日か。

- ① 日の出・日の入りの位置が、真東・真西からもっとも北よりである。
- ② 太陽の南中高度がもっとも低い。
- ③ 昼・夜の長さがほぼ同じである。

- (3) 図1は、夏至、冬至、春分・秋分の日の太陽の動きを表している。

図1

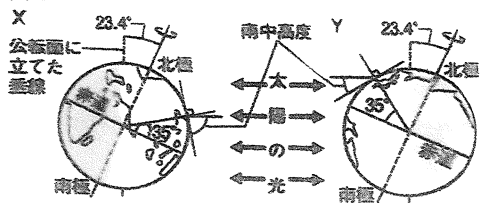


- ① 昼の長さがもっとも短いのは、A～Cのどのときか。記号で答えなさい。

- ② Aはどの日の太陽の動き方か。

- (4) 図2は、地球への太陽の光のあたり方を示したものである。冬至の日の太陽の光のあたり方はX、Yのどちらか。記号で答えなさい。

図2



2

(1)	① 地軸
	② 23.4
	① 夏至の日
(2)	② 冬至の日
	③ 春分・秋分の日
(3)	① C
	② 夏至の日
(4)	Y